発行：令和元年７月１２日

| 令和元年 度７月　第１回　学校関係者評価委員会　議事録 | |
|---|---|
| 開催日時 | 令和元年　7月３　日（水）17 時 00 分～ 19 時 00 分 |
| | |
| 開催場所 | 東京工科自動車大学校世田谷校 303 教室 |
| 参加委員<br>（★委員長） | ★井組　浩紀・中村　雅一・三羽　和彦・小野　宗憲・佐藤　学・西川　浩之佐藤　久郎　　欠席者なし |
| 参加事務局 | 佐藤　康夫・武井　和則・麻野　利治 |
| 会議録 | 【次　第】<br>日　時　令和元年 7 月 3 日（水）17:00～19:00<br>会　場　東京工科自動車大学校世田谷校　303 教室<br><br>1.　開会・校長挨拶<br>　東京工科自動車大学校世田谷校　校長　佐藤　康夫<br><br>2.　委員会成立の確認<br><br>3.　議長・書記の選出<br><br>4.　議事<br><br>議案１　委員、新委員について<br>議案２　前回議事録について<br>議案３　平成 30 年度自己点検評価について<br>議案４　平成 30 年度 事業計画 実績報告<br>Ⅰ．就職<br>Ⅱ．募集<br>Ⅲ．国家資格<br>Ⅳ．履修について（進級・卒業・退学）<br>Ⅴ．教職員ＦＤ<br>議案５　令和元年度事業計画と取り組み内容<br>Ⅰ．事業計画<br>Ⅱ．募集<br>Ⅲ．就職<br>Ⅳ．その他<br>５．　意見交換<br>６．　事務連絡（事務局）<br>・次年度日程の確認（11 月 1 日(金)実施予定）<br>７．　閉会<br>＜配布資料＞<br>・議事次第　【資料Ａ】 |

・平成 30 年度 第 2 回学校関係者評価委員会議事録　【資料Ｂ】
・平成 30 年度 自己評価点検報告書　【資料Ｃ】
・平成 31（令和元）年度 第一回学校関係者評価委員説明資料　【資料Ｄ】

1. 開会・校長挨拶（世田谷校：校長）

2. 委員会成立の確認（事務局）
会則第 5 条の基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。

3. 議長選出
事務局より委員の佐藤氏を推薦し、全会一致で承認され、以後進行は議長による。書記は新任が多いため代行して事務局の副校長が選任された。

4. 議事（議長）

1） 委員・新委員について（事務局・副校長）
・新委員について紹介、承認を得た。

2） 平成 30 年度第 1 回議事録確認（事務局・副校長）
・事務局より議事内容について議事録を基に確認を行い承認された。

3）平成 30 年度自己点検評価について（事務局・校長）
・事務局より平成 30 年度自己点検評価の報告があり承認された。

4） 平成 30 年度　事業計画　実績報告（事務局・校長）
Ⅰ．就職
・8 月末において世田谷校の就職希望者が 100%内定したことを報告、また 1 級自動車エンジニア科のメーカー系就職率が 76.7%で目標を達成したことを報告し承認された。
Ⅱ．募集
・見学者数の目標は達成したが、入学者は昨年比 4 名減であることを報告し承認を得た。
Ⅲ．国家資格
・2 級合格率 100%、1 級筆記試験 97%、口述試験 100%の目標達成を報告し承認された。
Ⅳ．履修について（進級・卒業・退学）
・退学率が目標の 5%未満が達成できていないが、前年度より退学率を抑えた報告をし承認された。
Ⅴ．教職員ＦＤ
・教職員ＦＤについては、昨年度より多い研修参加で技術力向上、指導力向上に努めていることを報告し承認された。

| | |
|---|---|
| | 5）令和元年度事業計画と取り組み内容（事務局・校長・副校長）<br>Ⅰ．事業計画<br>・就職率、資格、在籍率、進級・卒業率、退学率等の事業計画での取り組み内容、年間目標が報告され承認を得た。<br>Ⅱ．募集<br>・令和元年度の募集計画の報告並びに現在の進捗状況が報告され承認を得た。<br>Ⅲ．就職<br>・6 月末現在の就職状況が世田谷校として順調に推移していると報告された。1 級自動車エンジニア科の就職率 100%、メーカー系就職 100%達成についても報告され承認を得た。<br>Ⅳ．その他<br>1）高等教育無償化申請<br>・現在高等教育無償化申請の準備中であることの報告と無償化についての説明がされ承認された。<br>2）小山学園教育日程<br>・年間の教育日程の報告がされ承認された。<br><br>５．．意見交換<br><br>１）学生募集の体制を説明してほしい。権限は本部が持ってるのか学校毎で持っているのか？（委員）<br><br>・ 25年～30年前は待ち募集姿勢や地域の高校とのやりとりで校毎に募集していた事があるが、現在は広報本部一括で募集が行われている。これは人的また費用等の効果を考慮し、紙媒体やネット（ホームページ）制作や個別対応（電話）、高校訪問を専任体制で活動している。<br>・ オープンキャンパスの見学者対応は校で実施するが反応から見学予約まで見学後の出願までの個別フォローは広報本部で行っている。<br>・ 高校訪問に関しては校長・副校長の都合が合えば同行し、より専門的な話を伝える様にしている。<br>・ 進路決定時期や調査段階の動きが早まっていて、オープンキャンパスの内容に関してもイベントを工夫し、しっかり企画して1・２年次からスケジュールと段階を置いて対応するシナリオを組んで校と広報本部一体で対応している。全体の募集にかける仕事量が増えている。（事務局）<br><br>２）学生募集の費用は増加しているのか？（委員） |

| | |
|---|---|
| | ・　非常に増えている。いくらかけてもきりが無い。学費の一部なので効率的に使用している。（事務局）<br><br>３）車の使用が減っている都心部より、車の使用が見込める地方の募集活動を強化したほうが良いのではないか？（委員）<br><br>・　地方の戦略もやっているが経費（出張費・交通費・イベント運送費）支出に見合わないので縮小している。全国から集めるためネット媒体を駆使して接触をしている。より接触し易い様にホームページもスマホ対応版にリニューアル中である。（事務局）<br><br>４）世田谷校の強みのアピールは？（委員）<br><br>・　大学進学6割、就職75%、25%の大学院進学。卒業後のニーズが無く就職ができない。大学は企業が求める人材を育成できていない。世田谷校の設置学科は社会に求められる人材育成で企業のニーズに応えている。この辺りを高校進路指導の理解者に伝え。無償化制度もスタートし、進学を諦めたていた層にもに伝われば募集アップに繋がると確信している。（事務局）<br><br>６．事務連絡<br>次回、令和元年度　第二回学校関係者評価委員会は<br>１１月１日（金）17:00～<br><br>７．閉会<br>令和元年度第１回学校関係者評価委員会が閉会された。<br><br>以上 |

| | |
|---|---|
| | <br>委員会風景 |
| | |
| | |
| | |
| | |